



平成20年度

株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況

株式会社五霞まちづくり交流センターの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」は平成17年4月23日のオープン以来、来場者数は順調に増加しています。平成20年度における施設延べ利用者数(レジ通過者)は、約83万1千人、農産物直売所を含む総売上高は約9億円、交流センターとしての経常利益は約1,500万円になりました。

地域食材供給施設

●レストラン「華ごぶし」

様々な地域食材を利用した食事を提供し、昼食時には家族連れや観光団体での来店が多くなりました。

●農産物直売所「わだいわ菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物を求めています。道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

●軽食コーナー(加工施設)

軽食コーナーはレストランと同様に幅広い客層に利用され、特に種類の豊富なジェラートや人気のローズポークまんは大変ご好評をいただいております。



情報施設・交流広場

情報施設では、道路情報や地域情報を検索できるシステムが備わっており、様々な道路利用者に利用されました。

また、交流広場では、定期的に五霞町商工会による「ごぶし市(フリーマーケット)」の開催や、施設に隣接する畑を利用したコスモス祭りなどでは、人や自然とのふれあいの場として大勢の来場客でにぎわいました。

売上割戻金

約900万円を
町に納付

売上割戻金とは、株式会社五霞まちづくり交流センターから施設の利用による受益の割戻金であり、売上高に応じ、平成20年度分として9,069,005円が町に納付されました。

なお、割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。

